

ツマアカスズメバチに要注意



◆ツマアカスズメバチは中国、台湾、東南アジアが原産の特定外来生物です。

◆平成24年10月、長崎県対馬市において国内で初めて確認され、定着。吉崎市では平成29年9月に侵入が認められ、今年5月上旬にも個体が確認されました。現在、本州では確認されていませんが、侵入の可能性があります。

◆ツマアカスズメバチは養蜂業に被害をもたらす他、生態系への影響や人への刺傷被害等が懸念されます。

ツマアカスズメバチの特徴

ツマアカスズメバチ



ツマアカスズメバチの巣



- 体は**全体に黒っぽく腹部の先端がオレンジ色**。体長は、女王バチ 30 mm、オス 24 mm、働きバチ 20 mm程度です。
- オオスズメバチのように**ミツバチの巣は襲いませんが、巣箱の前でホバリング**して、帰巣してきた**ミツバチを空中で捕獲**します。
- **樹木の高い位置に営巣**することが多いのが特徴です。

ツマアカスズメバチを見つけた時は、すぐに当所まで御連絡

下さい！

京都府中丹家畜保健衛生所

福知山市字半田371-2

TEL：0773-25-1860（夜間・休日も転送機能で連絡可能）

FAX：0773-25-1861